

足立区議会議員 生まれて安心 暮らして安全 歩いて楽しい 足立区に。

長谷川たかこ

www.takahase.com

区議会レポート

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部卒。青山学院大学大学院法学研究科修了。
家族：夫・娘2人（12歳と9歳）。2人の娘の子育て真っ最中。
現在、足立区議会議員、文教委員会委員、子ども施策調査特別委員会委員、
足立区議会民主党副政調会長をつとめる。

ただ今、足立区内
全駅巡回駅頭
実施中！！

発行：足立区議会議員 長谷川たかこ
〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1
TEL/FAX 03-6380-6682
E-mail info@takahase.com



自転車政策特集号

自転車の功罪とは・・・



～皆さんは、自転車をお使いになりますか？～

足立区で暮らす私たちにとって、自転車はなくてはならない交通手段のひとつです。

実際に、足立区内の防犯登録台数は、東京23区内でもトップです。それだけ多くの区民の皆さんが、普段の生活の中で自転車を利用していることとなります。

実際に私も、ご近所への移動やお買い物などには、よく自転車を利用します。

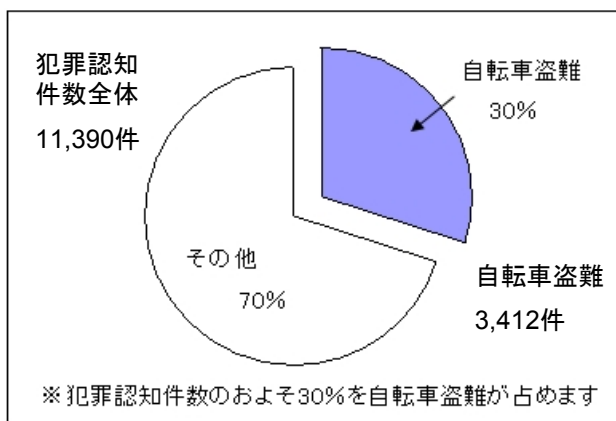
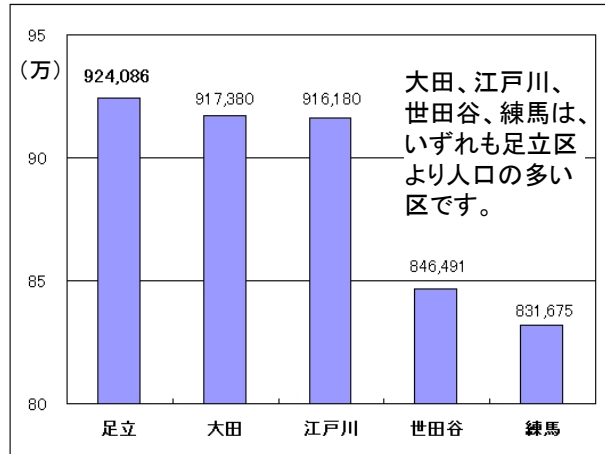
自転車は、誰でも気軽に利用できる上、有害なガスなどを出さない環境にも非常にやさしい乗り物である点などから、その価値が見直され、世界的にも利用が広がっています。

しかし、自転車の利用が増えることは、いいことばかりではありません。

自転車の台数が多いことで、放置自転車や自転車盗難などの件数も多く、足立区が抱える大きな問題のひとつになっています。

また、自転車利用のマナーの悪さは、車や歩行者との間の事故なども増えます。

足立区を安全で暮らしやすい街にするために、駐輪場の整備などの放置自転車対策、施錠の推進などの自転車盗難対策に加え、自転車利用のマナーの向上に積極的に取り組んでいきたいと思えます。



平成20年 足立区内刑法犯認知件数



店舗前に有料のラック式駐輪場を設置した例



・・・裏面は、長谷川たかこが実際に議会で提案した内容や、区民の皆さんからのお声をもとに、区の担当課と協議し、改善した事例などをご紹介します。

長谷川たかこの取り組み(自転車対策編)



放置自転車対策で安心、安全な街を

▶ 放置自転車をなくすための、原因の分析と有効な対策を ◀

北千住、綾瀬、西新井、竹ノ塚などの駅周辺では、放置自転車に悩まされています。

放置自転車が増えると、自転車盗難などの犯罪を誘発する温床になるだけでなく、歩道や車道が狭くなることにより、安全も脅かされ、また街の景観も損ねます。

綾瀬駅の例をみると、平日綾瀬駅を利用されている方の数は、およそ4万5千人。そのうち約1万人の方が、自転車で乗り入れていると思われます。

それに対して、綾瀬駅周辺の駐輪場の収容可能台数は区営・民営合わせて1万1千台というデータがあります。このデータから分かることは、決して駐輪場の数が不足している訳ではないということです。

放置自転車が起る原因としては、駐輪場が駅から遠い、短時間で利用できる枠が少ないなどがあるようです。放置自転車解消には、公園なども利用した駐輪場の適切な整備と、一時利用に適していると言われるラック式の駐輪場を設置するなど、古隅田川の整備事業など総合的な計画の中での具体的な対策を求めました。



綾瀬駅周辺の違法駐輪・放置自転車

自転車利用のマナーの向上

▶ 利用者の意識改革こそが一番の対策です ◀

駅周辺や公園などでの自転車利用者のマナーが、しばしば問題になります。

実際に、綾瀬駅東口の東西連絡通路や、西新井栄公園内の歩道など、自転車の乗り入れが禁止されているにも関わらず通行する方が多いと、お声をいただきました。

特に駅や公園などは、小さなお子さんからお年寄りまで、さまざまな人が利用するため、思わぬ大事故に繋がる危険があります。

早速、現地調査をするとともに、区の担当職員とも相談をし、自転車の乗り入れを禁止するマークや駐輪スペースのラインの設置などの対応をしていただきました。



左：利用者のマナー向上を促すため、新しく設置された自転車乗り入れ禁止マーク(西新井栄公園)

右：キャンペーン直後は、配布した鍵でツーロックしてくださる方もいたのですが、いまではほとんど見かけません。

ワンチャリ・ツーロック作戦の検証を

▶ 鍵を配るだけではだめ！ 有効な対策を ◀

区が進めているワンチャリ・ツーロック作戦のキャンペーンには、私も何度が参加し、チェーン鍵を配布しながら、ツーロックの訴えをさせていただいてきました。

しかし、区が配布した鍵を利用している自転車を見かけないことから、行政に、現状の調査などを含め、これまでのキャンペーンをしっかりと評価することを求めました。

また、質疑の中で自転車盗難の多くが「ツーロック」どころか「ワンロック」すらしていないという事実からも、今後の「ワンチャリ・ツーロック作戦」のあり方の検討の必要性を訴えました。

